

編集後記

■編集委員 (50 音順)

出 月 康 夫	北 島 政 樹	北 野 正 剛	小 西 文 雄
白 日 高 歩	堤 治	万 代 恭 嗣	東 原 英 二

わが国に内視鏡下手術が導入されてから 12 年が経過した。干支を一巡し、今年からは 2 周目に入る。あまりにも革命的な手術であったために、最初は異端視され、偏見をもってみられることの多かったこの手術も、ようやくわが国の外科のなかに定着し、正当に評価されるようになりつつある。この手術は手術手技上の革命であったばかりでなく、手術のコンセプトに大きな変化をもたらした。Minimally invasive であるかどうかは別にして、「人に優しい手術」という、今では外科医の誰もが使う言葉もこの手術が出現する以前にはなかったし、本号で特集されている“Robotic surgery”や“Telesurgery”が現実のものとなりつつあるのも、内視鏡下手術が可能となったからである。

10 余年という、長い外科手術の歴史からみればとるに足らない短い期間に、ハーモニック・スカルペルやリガ・シユアをはじめ、多数の手術機器や器械がこの手術のために開発され、これらを駆使して、これまで困難と考えられてきた進行癌に対する複雑な手術も可能となりつつあり、この手術の適応はさらに広がるものと予測される。「必要は発明の母」と言うが、この手術をさらに応用しようという意欲がある限り、さらに優れた機器や技術革新が生まれることは確実である。

本学会も発足以来、順調に成長を続け、会員数も 5,000 名を超える大きな学会となったが、これは外科系医師のこの領域に対する関心の深さを示すものにほかならない。本学会は隔年ごとに内視鏡下手術の全国アンケート調査を実施しているが、これをみると、手術数は年ごとに増え続け、適応も少しずつ広がりがりつつあり、国民が望んでいる手術であることが反映されている。

医療の評価で欠かせないものは、結果 (outcome) である。よいものは普及し、よいものは残る、単純かつ明快である。情報化が進む現代では、選択するのは患者である。かつて手術の密室性が批判されたが (マスコミはいまだに医療の密室性を喧伝するが)、すべてがテレビ画面に映し出され、ビデオテープに記録されるこの手術には密室は存在し得ない。医師はよい手術を身につける修練を怠ることができない。

本学会では現在、内視鏡下手術についての技術認定制度が検討されている。目的はあくまでも、患者のための安全の確保である。外科、婦人科、泌尿器科などのそれぞれの領域の専門医であることが条件となっているが、いわゆる専門医の認定とは別物である。2004 年度の発足を目指している。技術認定制度検討委員会が検討中の案は、本誌 (第 7 巻 5 号) にも掲載されているので、是非ご意見をお寄せいただきたい。

(出月康夫)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 8 巻 第 1 号) 2003 年 2 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 (本体 2,700 円 + 税) となります。

2003 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 出月康夫)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財) 日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

©2003, Printed in Japan

発 売: (株) 医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 田村, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。